夕	1	1	١,	J	L

部材の熱膨張係数、耐熱性、比熱を確認しました。

事例	熱分析装置を用いた熱物性(熱膨張率、耐熱性、比熱)の測定			
試験内容と結 果	製品に使用する部材の熱膨張率や耐熱性、比熱を確認し、製品の構造設計や部材の選択に役立てたいとのご依頼内容で、部材の種々の熱物性を熱分析装置を用いて測定した。 部材を加熱しながら寸法変化を測定し、熱膨張係数を求めた。 部材を加熱しながら重量変化を測定し、熱分解や酸化反応が起こる温度を求めた。 部材を加熱しながら標準試料との熱量の差を測定し、比熱を求めた。 熟態張係数の測定 「対法変化 「対象性の測定 「対象性の関係性の関係性の関係性の関係性の関係性の関係性の関係性の関係性の関係性の関係			
使用した装置	熱分析装置(EXSTARシリーズ) エスアイアイ・ナノテクノロジー(株)製			
手数料 (平成21年)	・熱分析耐熱性(熱重量変化の測定)3,250円(1試料)・熱分析熱膨張係数3,250円(1試料)・熱分析比熱3,250円(1試料)			
担当部署 機械電子研究所 電子技術課 076-433-5466				